



平成28年7月25日

各 位

上場会社名 内外トランスライン株式会社
 代表者 代表取締役社長 常多 晃
 (コード番号 9384)
 問合せ先責任者 取締役経営企画部長 三根 英樹
 (TEL 06-6260-4800)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ平成28年2月10日に公表した平成28年12月期第2四半期(累計)連結業績業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,580	790	790	490	50.53
今回修正予想(B)	10,010	570	510	350	36.09
増減額(B-A)	△1,570	△220	△280	△140	
増減率(%)	△13.6	△27.8	△35.4	△28.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年12月期第2四半期)	11,364	780	776	473	44.30

修正の理由

当社グループの平成28年12月期第2四半期累計期間の連結業績につきましては、中国、アジアの景気減速や、年初来の円高の進行により、わが国貿易が大きく後退していること等の要因により、売上高、利益とも前年同期実績を下回って推移いたしました。

単体売上高においては、当社の主軸商品である輸出混載貨物輸送が前年同期に比べ約10%減少し、輸入貨物輸送についてもわずかに減少しております。

一方、海外においても、円高の急激な進行により円換算ベースでの海外現地法人売上高が大きく減少し、当社グループ売上を下押ししております。

また、営業利益についても、売上原価率の改善、販管費の抑制等を図ってまいりましたが、売上高の減少をカバーするまでには至らず、経常利益についても為替差損の計上により減益となる見込みとなりました。

以上の理由により、当第2四半期累計期間連結業績予想数値が前回発表業績予想を下回る見込みとなりましたので上記のとおり修正いたします。

なお、通期連結業績予想数値につきましては、通期業績向上に向け諸施策を講じておりますが、当社グループを取り巻く経済環境はなお不透明性が高いことから、現時点では前回発表(平成28年2月10日公表)業績予想を据え置いており、今後修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

また、中間及び期末の配当予想につきましては、平成28年2月10日に公表しました数値から変更はありません。

以上